

Title	目で見るWHO 第52号 表紙・目次・資料等
Author(s)	関, 淳一
Citation	目で見るWHO. 2013, 52, p. 1-2
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/86716">https://hdl.handle.net/11094/86716</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

A faint world map is visible in the background of the top half of the page, rendered in a light blue color against the dark blue background.

# 目で見る WHO

## 特集「TICAD V」

*Control your blood pressure,  
control your life*

「血圧管理の重要性：心臓疾患・脳卒中のリスクを減らそう」

— 第52号 —

# 2013 夏号

発行 公益社団法人 日本WHO協会

## 日本WHO協会とは

公益社団法人日本WHO協会は、世界保健機関(WHO)憲章の精神を普及徹底し、その目的達成に協力し、我が国及び海外諸国の人々の健康増進に寄与することを目的として設立された団体です。設立より半世紀近く、関西を拠点にグローバルな視野から国内外の人々の健康を考え、行動しており、今後も積極的に目的達成のため活動していきます。

- (1) WHO憲章精神を普及するための健康に関するセミナー等の開催及び機関誌・広報等の啓発事業
- (2) 健康に関する調査研究の受託・委託及び助成並びに研究成果に基づく提言等の研究事業
- (3) 国内外で健康に関する社会貢献活動を行う企業、団体並びに個人との連絡・調整・協力等の連携事業
- (4) WHOの事業目的達成に寄与するための募金活動及び募金収益の拠出並びに活動協力等の支援事業
- (5) 国内外の健康の向上につながる人材の育成・援助等の人材開発事業

## C O N T E N T

ごあいさつ .....	1
沿革 .....	2
●日本WHO協会 フォーラム講演録	
口と全身の密接な関係 .....	和泉 雄一 3
口腔ケア・口腔リハビリは高齢者の命を救う ～絶対に忘れてはいけない口腔からの感染予防～ .....	米山 武義 10
●TICAD V 公式サイドイベント報告	
アフリカの健康、水、いのち .....	中村 安秀 15
アフリカの健康課題 .....	関 淳一 16
アフリカにひろがる母子手帳 .....	板東あけみ 17
SARAYA East Africa が始動するまで .....	代島 裕世 20
安全な水を世界の人へ .....	水野花菜子 25
村で守る母子の健康 ～HANDS ケニアのとりくみ～ .....	網野 舞子 27
アフリカの健康を守るには? ーケニアの人々が教えてくれた大切なことー .....	桐山 純奈 31
フォーラム開催のお知らせ .....	33

## ごあいさつ



公益社団法人 日本WHO協会  
理事長 関 淳一

本年1月26日にフランスで逝去された第4代WHO事務局長中島宏先生を偲ぶ会が、去る6月15日に東京のホテルオークラに於いて行われ、私も出席致しました。

中島宏先生がご逝去された日には、ジュネーブでWHO執行理事会が開催中で、マーガレット・チャン事務局長が会議の中で追悼の言葉を述べられ、全員で黙祷が捧げられました。

中島宏先生は、1974年からWHOの仕事に従事され、1979年から1988年迄WHO西太平洋地域事務局長、1988年から1998年迄WHO事務局長として、世界の人々の健康の為に、文字通り世界中で活動を展開されました。常に現場に立たれ、ポリオ撲滅をはじめ現在も続く数々の事業を手掛けられた先生のご功績は日本人の誇りであります。享年86才でした。

東京での偲ぶ会には、厚生労働大臣をはじめ来賓の方々や中島宏先生を慕い偲ぶ多くの方々が集まり、各々が思い出を語られました。最後に二人のご子息と共に、この日の為にフランスから来日されたマーサ夫人が、生前の中島先生の人類の健康に対する強い思いを偲びつつ、生前故人と関わりのあった全ての方々にお礼を申し上げたいとご挨拶されました。

去る6月1日から3日間にわたり横浜で行われた第5回アフリカ開発会議(TICAD-V)の公式サイドイベントに於いて、私共(公社)日本WHO協会も「アフリカの健康、水、いのち」と題したフォーラムを開催いたしました。2011年4月の日本医学会総会のイベント行事として、同じタイトルで計画していた東日本大震災により開催できなかったものを、この度、

アフリカ開発会議の目的に沿って再構成いたしました。前回と同様、実際にアフリカで活動しておられ、当協会の理事でもある大阪大学の中村安秀教授に全体の構成、演者の選定及び当日のファシリテーターをお願いしました。

第1部では、私共の協会と何らかの関係のある日本のNGO/NPO、企業、研究者、学生等様々な立場の人達から、アフリカで実際に取り組んだ生の体験談を紹介していただき、続いて第2部では、アレックス・ロスWKC所長をはじめとする内外からの参加者を交えての意見交換が行われました。健康の問題を幅広い視点でとらえて、色々な場での実体験者の意見を聞くことができ、アフリカを身近に感じることができると共に、これからのアフリカの開発に我々ができることを皆で考える非常に良い機会となりました。

非常に忙しい中、ご参加いただいた方々に、改めて御礼を申し上げますと共に、全体を取り仕切っていたいただいた中村安秀教授に感謝いたします。フォーラムの全体については、本号に掲載されておりますので、是非お目通し頂きたいと思っております。

「目で見るWHO」の前号で、開催のご報告をさせていただきました2月27日に東京で開催いたしましたフォーラム「歯と健康Ⅱ～Active Ageingのために～」での和泉雄一先生と米山武義先生のご講演の全文を今回掲載させていただきました。いずれも健康寿命との関わりから極めて示唆に富むお話で、是非一人でも多くの方にお読みいただきたいと思います。尚、ご講演の内容を文章化するに当たりご多忙の中、改めてご推敲いただきました両先生に厚く御礼申し上げます。 2013年8月



## (公社) 日本 WHO 協会の沿革

- 1948 [「WHO憲章」が発効し、国連の専門機関として世界保健機関(WHO)が発足する。]
- 1965 WHO憲章の精神普及を目的とする社団法人日本WHO協会の設立が認可された(本都  
京都)。会報発行、WHO講演会等の事業活動を開始。
- 1966 世界保健デー記念大会開催事業を開始。
- 1970 青少年の保健衛生意識向上のため、作文コンクール事業を開始。
- 1981 老年問題に関する神戸国際シンポジウムを主催。
- 1985 WHO健康相談室を開設、中高年向け健康体操教室を開講。
- 1994 海外のWHO関連研究者への研究費助成事業を開始。
- 1998 京都にてWHO創設50周年シンポジウム「健やかで豊かな長寿社会を目指して」を  
開催。
- 2000 WHO健康フォーラム2000をはじめ、全国各地でもフォーラム事業を展開。
- 2006 事務局を京都より大阪市内へ移転。
- 2007 財団法人エイズ予防財団(JFAP)のエイズ対策関連事業への助成を開始。
- 2008 事務局を大阪商工会議所内に移転。定期健康セミナー事業を開始。
- 2009 「目で見えるWHO」を復刊。パンデミックとなったインフルエンザに対応し、対策セ  
ミナーを開催。
- 2010 WHO神戸センターのクマレサン所長を招き、フォーラム「WHOと日本」を開催、  
WHOへの人的貢献の推進を提唱。
- 2011 メールマガジンの配信を開始。
- 2012 公益社団法人に移行。  
世界禁煙デーにあたってWHO神戸センターのロス所長を招き、禁煙セミナーを開催。

第二次世界大戦の硝煙さめやらぬ1946年7月22日、世界61カ国がニューヨークに集い、すべての人々が最高の健康水準に達するためには何をすべきかを話し合い、その原則を取り決めた憲章が採択され、1948年4月7日国連の専門機関として世界保健機関WHOが発足しました。

当協会は、このWHO憲章の精神に賛同した人々により、1965年に民間のWHO支援組織として設立され、グローバルな視野から人類の健康を考え、WHO憲章精神の普及と人々の健康増進につながる諸活動を展開してまいりました。

### 歴代会長・理事長、副会長・副理事長 (在職期間)

会 長 ・ 理 事 長	中野種一郎(1965-73)	副 会 長 ・ 副 理 事 長	松下幸之助(1965-68)	加治 有恒(1996-98)
	平沢 興(1974-75)		野辺地慶三(1965-68)	坪井 栄孝(1996-03)
	奥田 東(1976-88)		尾村 偉久(1965-68)	堀田 進(1996-04)
	澤田 敏男(1989-92)		木村 廉(1965-73)	奥村 百代(1996-06)
	西島 安則(1993-06)		黒川 武雄(1965-73)	末舛 恵一(1996-04)
	忌部 実(2006-07)		武見 太郎(1965-81)	中野 進(1998-06)
	宇佐美 登(2007-09)		千 宗室(1965-02)	高月 清(2002-06)
	関 淳一(2010- )		清水 三郎(1974-95)	北村 李軒(2002-04)
			花岡 堅而(1982-83)	植松 治雄(2004-06)
			羽田 春免(1984-91)	下村 誠(2006-08)
	佐野 晴洋(1989-95)	市橋 誠(2007)		
	河野 貞男(1989-95)	更家 悠介(2008- )		
	村瀬 敏郎(1992-95)			